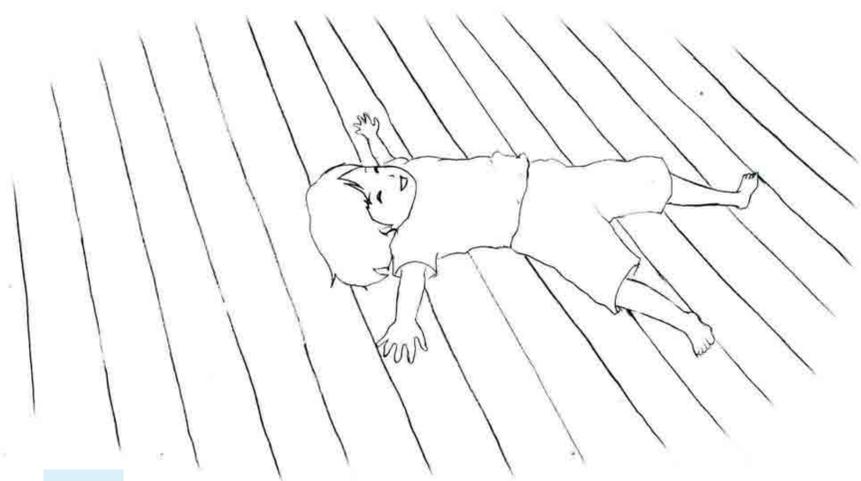




いろいろなまち

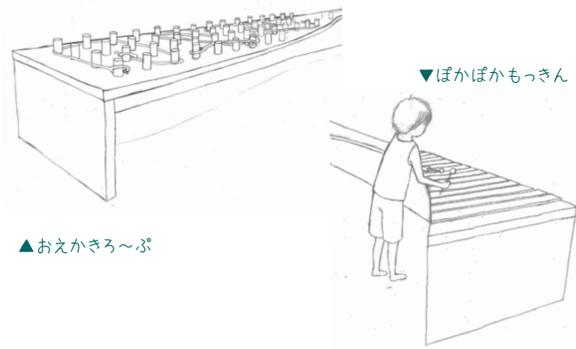


コンセプト

鳥取のまちなみをモチーフに山、砂丘、まちの3つのゾーンに分けました。ここでは子どもたちの自由な発想やそれを表現する力を育てることを目的としており、おもちゃの組み合わせによって形や遊び方を自由に変えて遊べる広場になっています。また、木の温かみを感じられるように木本来の色を残しつつ、子どもたちの興味をそそるような味付けとして部分的にたくさんの色を取り入れました。子どもたちが木のおもちゃを使って自分たちで考えてみんなでお気に入りのまちをつくってほしいです。そして、遊びを通して創造力を身に付けてほしいと考えています。



砂丘ゾーン



▲おえかきろ〜ぷ

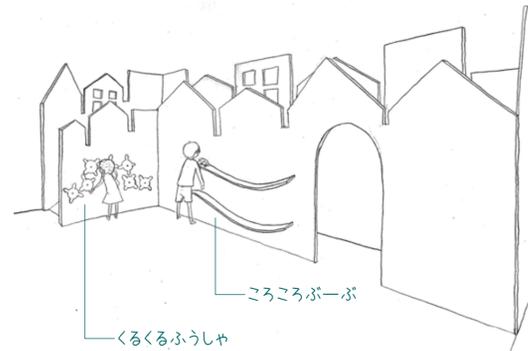
▼ぽかぽかもっきん

-鳥取砂丘の風紋をモチーフにした形-

- ぽかぽかもっきん
木琴は、着色しないことにより、木で音を楽しむことをより意識してもらおう。
- おえかきろ〜ぷ
ひもを木の棒にかけて、自由なお絵描きができる。この木の棒は、収納時には部品として取り外し可能である。

※木琴で音を出したり、ひもで絵を描いたりするほかにも机を活かした遊びに使おう!

まちゾーン



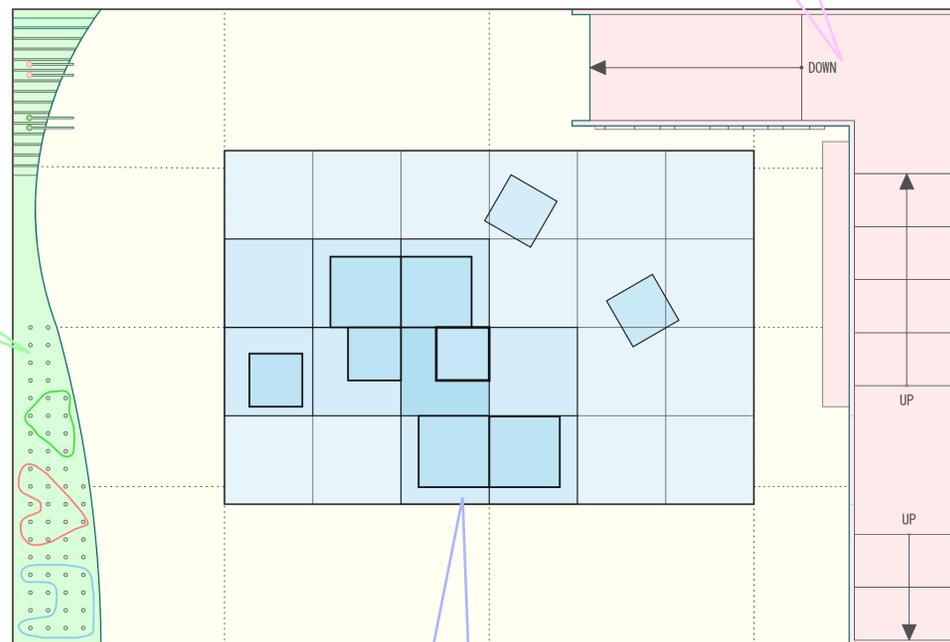
くるくるふうしゃ

ころころぶーぶ

-鳥取のまち並みをイメージした空間-

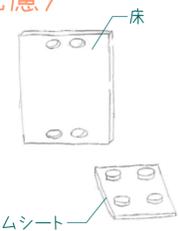
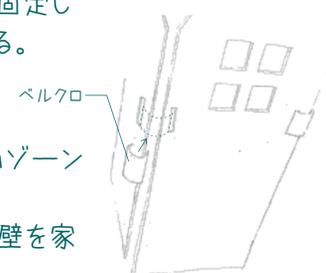
- くるくるふうしゃ
風車を手で回して遊ぶ。歯車式に動き、また色がついているため、動きだけでなく視覚的にも楽しむことができる。
- ころころぶーぶ
木でできた車のタイヤがころころ回り、壁から飛び出している道路の上で動かして遊ぶことができる。

※車を走らせたり、家の間を歩いたり、まちのなかを巡ってみよう♪



全体配置図 1/20

〈設置・解体方法と安全面の配慮〉

- ①床
全体の床は運びやすい大きさに分割し、床裏に突起をつけたゴムシートで固定されているので動かないようになっている。

- ②まちゾーンパネル
パネルに開けた穴同士をベルクロで固定しているため倒れないようになっている。

- ③すべり台
ステップは各段箱として使用でき、山ゾーンの24枚の床が収納できる。まちのパネルはすべり台、ステップ、壁を家具用緊結金物で固定する。
- ④山ゾーン
24枚の床板は固定せず、常に取り外し可能とする。キューブは持ち運び可能な大きさであり、撤去の際は一部入れ子に収納できるものもある。キューブのない床部分は床板をはめているので子どもたちが遊んでもキューブが動かないようになっている。
- ⑤砂丘コーナー
2分割のテーブルは重ねて収納できる。お絵かきの棒は全て取り外し可能。

※おもちゃには基本的に自然塗料を使用しているため子どもたちが口に入れた際も安全です。

山ゾーン



-大山をイメージした空間-

- でこぼこまうてん
でこぼこまうてんは広場の取り外し可能な24枚の床と大きさの異なる4種類のキューブから構成される。はずした床板部に自由にキューブをはめこみ、その上に積み上げれば山がデザインできる。また、小さめのキューブは山ゾーンだけでなく他のゾーンでも椅子としても使える。この遊具では友達と協力しながら様々な形をつくることのできるため友達と達成感を共有することができる。形によってのぼり方やぐり方が変わるので飽きずに楽しめる。
※みんなで力を合わせて君たちだけの秘密基地をつくろう\(*o^*)/